

その“ものづくり”への情熱を 木造建築の世界へ

匠 T A K U M I SPECIAL INTERVIEW

インタビュー動画は
こちらから ▶



社内外で15年以上大工職の経験を積み、現場で活躍するだけでなく、卓越した特級、一級技能士だけが参加できる技能グランプリ出場の経験を持つ樋口。努力を惜しまずストイックな姿勢で、技術の研鑽に身を捧げ、建築大工職種部門・銅賞受賞の快挙を遂げた後、現在は後進の育成に力を注ぐ『匠』が考える住友林業ホームエンジニアリングの魅力とこれからとは一。



埼玉事業部(SMC統括)
樋口 徹

「必要なのは特別な才能ではなく、
ものづくりへの想いや、
職人になりたいという情熱」

「住宅の施工精度は非常に高度。
非住宅分野に挑んでも
この施工力を発揮できれば怖いものなし」



2017年第29回技能グランプリ銅賞受賞時の様子

「これだけ充実した職人育成の
システムが整っているのは当社の強み」

「木造と言えば住友林業。
職人と言えば住友林業ホームエンジニアリングと
言われるように」

活躍の舞台は、広大にー



世界にひとつの注文住宅から、
世代を超えて住み継ぐためのリフォーム、
木造新時代を拓く中大規模木造建築まで…。
活躍の舞台は、これからも広がります。



当社ホームページ

木と生きる幸福

住友林業グループ



住友林業ホームエンジニアリング株式会社

www.sumirin-he.co.jp



住友林業ホームエンジニアリング

大工職
DAIKU

左官職
SAKAN

躯体職
KUTAI

技能職を目指すみなさんへ

匠への途

みち

木造新時代を切り拓く技能者にー。



匠への途MOVIEは
こちらから



大工職

DAIKU

左官職

SAKAN

躯体職

KUTAI

木造イノベーションを支え続ける匠にー。

建築物における木材、建材の加工、取り付け施工を主とする職制。

建築物の壁や床、外構などをこてを使って塗り上げる職制。

建築物の基礎や構造躯体の施工を主とする職制。

世界的な木造希求の潮流ー。

脱炭素やストレス社会の緩和など、国際社会がSDGsを追求する中で、近年、木造に大きな期待が寄せられています。私たちは、そんな木造新時代において、古来木造文化を主としてきた、日本ならではの伝統的技術と、住友林業グループが長年培った木への造詣、そして木と木造に関する先端技術を融合させ、木造イノベーションを支え続けています。



匠への途

みち

木造新時代を共に切り拓くー

近年、再注目されている木造は、今後更に様々な技術、形態で発展していくものと予想されます。

当社では、毎年数十名の技術職新入社員を採用し、住友林業建築技術専門校(企業内職業訓練校)でのグループ研修、実際の住友林業の家でのグループ実地研修を通じて、心技体のバランスに優れた技術者を育成し、木造新時代を共に切り拓く“匠”を多数輩出しています。



Image: SUMITOMO FORESTRY & NIKKEN SEKKE

住友林業グループは、創業以来培ってきた木への深い造詣を活かした、木と木造に関する様々な事業を国内外で展開しており、木造に新たな役割が求められる“木造新時代”を切り拓いて参ります。

木造新時代を切り拓く、住友林業グループの一員として

戸建て
木造事業中大規模
木造事業当社技能職の
従事領域賃貸向け
木造事業リフォーム
事業



“手に職”があれば、未来の選択肢が広がる。

確かな知見と高度な技術を擁する一。
それは、その建物の建築主や、そこで生活を営む人の
“幸せ”を育み、新たな歴史を紡ぐための礎となる…。
そして、それはやがて、未来の選択肢を広げる、
自分自身の確実な糧になります。



入社後のキャリアアップSTORY

入社

技術を学ぶ

〔建築技術専門校での研修〕



入社後は所定の期間、企業内訓練校、住友林業建築技術専門校（千葉県四街道市）において、社会人としての基本的な心得から、それぞれの職制ごとの専門技能を学び、将来の“匠”にむけた心技体の訓練を行います。

技術を磨く

〔建築現場での実務経験〕



建築技術専門校での訓練を終えると、実際の住友林業の建築現場において、実地研修を行います。その後、地域採用の方は各地域へ、首都圏希望の方は首都圏へと配属され、いよいよ技能職人として活躍することになります。

終身雇用

〔社内キャリアアップ〕



ベテランになり、十分な経験と技能が備わると、社内棟梁となって、現場を取り仕切るか、工事管理者となって、工事全般を管理するか、技能指導者となって、後進の育成をする等の管理職へと昇進します。

社員職人

独立志向

〔専属契約〕



独立希望者は、その後も住友林業と専属契約を結び、現場の全てを任される専属職人として、安定的な工事委託を受けられる選択肢もあります。

専属職人

専門校生は技能五輪でも大活躍！

〔技能五輪大会〕

青年技能者を対象に優れた技を競う、技能五輪全国大会、及び技能五輪国際大会において、住友林業建築技術専門校生は、20年連続で入賞する等の優れた成績をおさめています。

●2021年技能五輪全国大会成績
10名出場（銀賞1名、銅賞3名、敢闘賞4名）



※技能五輪全国大会の様子

住友林業建築技術専門校

企業内訓練校で“給料を貰いながら”学ぶ。

木造施工の近代化を担う新しいタイプの建築技能者養成を目的に1988年に設立。全寮制での集団生活を通じて、社会人としての基本的な協調性を身につけつつ、業界トップレベルの充実した実技訓練や座学を行い、心技体バランスの取れた技能者育成を果たしている。

住友林業建築技術専門校
ホームページ



訓練生の1日

- 08:30
・始業
・授業準備
- 09:00
・専門実習
・座学
- 12:00
・昼休憩
- 13:00
・専門実習
・座学
- 17:00
・終業



入社後のカリキュラム詳細



先輩技能者＆採用担当者に聞いたREAL VOICE

大工職 DAIKU

酒井 康平 (大工職:4年目)

「経験を積んで気持ちにも変化が。
現場で施工しながら、住まうお客様の暮らしを
イメージして工夫するように」

インタビュー動画は
コチラから



松村 信彦 (大工職SMC:10年目)

「大工仕事の楽しみを感じるのは和室の施工。
真壁和室は難易度も高いが達成感は格別。
この伝統技術を自分が伝えていかなくては
と思うとより頑張ろうという気持ちに」



※SMCとはSumirin Master Craftsmanの略(＝技能職指者)

左官職 SAKAN

青木 幸大 (左官職:2年目)

「自分の仕事が目に見えてできあがる喜びがある」

インタビュー動画は
コチラから



神田 尚紀 (左官職:2年目)

「道具が増えるたびに、
できなかったことができるようになり
自らの成長を感じられる」



鈴木 恋響 (左官職:2年目)

「自分が塗ったそのままの形で残ることに、
楽しさと嬉しさがある仕事」

躯体職 KUTAI

人財開発室 採用担当 **埴岡 知子**

「職人の高齢化や業界の短工期化など
社会の要請に対応するために、
新たに躯体職を育成します」

インタビュー動画は
コチラから



「高い施工精度をかなえる技術を身に付け、
住宅だけでなく中大規模木造建築の現場にも活躍の場が。
将来は技能職指導員、独立や現場監督等のキャリアも」

「多岐にわたる事業分野を展開する
グループのネットワークを生かし、
末永く安定した仕事を」



入社後の働く環境Q&A

Q.専門校での研修はどのような雰囲気ですか？

A.さまざまな地方出身の同世代の同期と共に建築技術を学び、連帯意識や協調性をあわせて教わります。同じ釜の飯を食べた仲として、生涯の友だちになることも少なくありません。



Q.1年間の訓練校では学校行事などがありますか？

A.プレカット工場・博物館・研究所の見学、技能五輪応援研修旅行のほか、オリエンテーリングやボーリング球技大会などのスポーツも含めた豊富な学校行事があります。



Q.現場での実地研修はどのような雰囲気ですか？

A.昔ながらの棟梁があれこれ指示をして現場を動かす形式ではなく、組織としてしっかりとしたマニュアルを確立しつつ、チーム制でそれぞれの現場を施工していくので、比較的現場が和気あいあいとしています。



Q.チーム制とは何ですか？

A.同年代の仲間とチームを組み、歳の近い先輩から技術を学んで、住友林業の建築現場を施工しています。歳が近いため、分からないことも聞きやすく、休憩時など共通の話題で盛り上げられます。



Q.各現場に配属された後はどのような働き方ですか？

A.経験ごとにチーム編成が変わり、さまざまな先輩から学べる体制が整っています。毎年フォロー研修もあり、外部・内部作業の順に経験して、最終的に単独で木工事が完成できるように。その後は先輩から受け継いだ志や技術を後輩へと伝えていきます。

Q.1年間の訓練中、帰省はできますか？

A.帰省手当がでるため、年3回帰省することができます。

Q.配属・転勤はどうなっていますか？

A.1年間の訓練後は採用された各地域へと配属されます。原則として転勤はありません。